

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【公開番号】特開2014-147640(P2014-147640A)

【公開日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-044

【出願番号】特願2013-19625(P2013-19625)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月14日(2016.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技用価値を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示装置に表示結果が導出されることにより 1 ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能とされたスロットマシンであって、

前記可変表示装置に表示結果を導出させるときに操作される導出操作手段と、

前記導出操作手段が操作されたときに、前記可変表示装置に表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段と、

所定条件が成立しているときに、前記導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様以外の操作態様にて操作されたときに、遊技者に不利益が発生させることが可能な不利益発生手段と、

遊技者にとって有利な有利状態に制御する有利状態制御手段と、

前記有利状態に制御するか否かを決定する有利状態決定手段と、

前記有利状態に制御される可能性を示唆する特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記特定演出を実行する期間を第 1 の期間と第 2 の期間とを含む複数種類の期間から選択する期間選択手段と、

前記有利状態に制御する旨が決定されたときに、前記特定演出を実行した後に前記有利状態に制御する旨を報知する有利状態報知演出を実行する有利状態報知演出実行手段と、  
を備え、

前記有利状態制御手段は、前記有利状態に制御する旨が決定され、前記特定演出が実行されるときには、前記有利状態報知演出が実行された後に前記有利状態の制御を開始する特定演出後有利状態制御手段を含み、

前記期間選択手段は、前記有利状態に制御する旨が決定されているときに、前記有利状態に制御する旨が決定されていないときよりも前記第 1 の期間と前記第 2 の期間のうち前記第 1 の期間が選択される比率が高くなるように前記特定演出を実行する期間を選択し、

前記不利益発生手段は、前記有利状態に制御する旨が決定された後、前記有利状態報知演出が実行されるまでの期間において前記所定条件が成立し、前記導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様以外の操作態様にて操作されたときに、前記不利益として前記有利

状態の開始を遅らせる特定不利益を発生させる特定不利益発生手段を含み、

前記有利状態報知演出実行手段は、前記特定不利益発生手段が前記有利状態の開始を遅らせるときに、前記有利状態報知演出が実行されるまでの期間を延長させる期間延長手段を含み、

前記スロットマシンは、前記特定演出が実行されている期間であり、かつ該特定演出の期間として前記第 1 の期間または前記第 2 の期間の一方の期間が選択されているときに、前記期間延長手段により前記有利状態報知演出が実行されるまでの期間が延長されることで前記特定演出を実行する期間が前記第 1 の期間または前記第 2 の期間うち他方の期間となることを規制する期間規制手段をさらに備える

ことを特徴とするスロットマシン。

【請求項 2】

遊技用価値を用いて 1 ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示装置に表示結果が導出されることにより 1 ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能とされたスロットマシンであって、

前記可変表示装置に表示結果を導出させるときに操作される導出操作手段と、

前記導出操作手段が操作されたときに、前記可変表示装置に表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段と、

所定条件が成立しているときに、前記導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様以外の操作態様にて操作されたときに、遊技者に不利益を発生させることが可能な不利益発生手段と、

遊技者にとって有利な有利状態に制御する有利状態制御手段と、

前記有利状態に制御するか否かを決定する有利状態決定手段と、

前記有利状態決定手段により前記有利状態に制御する旨が決定されたときに、該有利状態の有利度を決定する有利度決定手段と、

前記有利状態に制御される可能性を示唆する特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記有利状態決定手段により前記有利状態に制御する旨が決定されたときに、前記特定演出を実行する期間を第 1 の期間と第 2 の期間とを含む複数種類の期間から選択する期間選択手段と、

前記有利状態に制御する旨が決定されたときに、前記特定演出を実行した後に前記有利状態に制御する旨を報知する有利状態報知演出を実行する有利状態報知演出実行手段と、  
を備え、

前記有利状態制御手段は、前記有利状態に制御する旨が決定され、前記特定演出が実行されるときには、前記有利状態報知演出が実行された後に前記有利状態の制御を開始する特定演出後有利状態制御手段を含み、

前記期間選択手段は、前記有利度決定手段により所定以上の有利度が決定されているときに、所定未満の有利度が決定されているときよりも前記第 1 の期間と前記第 2 の期間のうち前記第 1 の期間が選択される比率が高くなるように前記特定演出を実行する期間を選択し、

前記不利益発生手段は、前記有利状態に制御する旨が決定された後、前記有利状態報知演出が実行されるまでの期間において前記所定条件が成立し、前記導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様以外の操作態様にて操作されたときに、前記不利益として前記有利状態の開始を遅らせる特定不利益を発生させる特定不利益発生手段を含み、

前記有利状態報知演出実行手段は、前記特定不利益発生手段が前記有利状態の開始を遅らせるときに、前記有利状態報知演出が実行されるまでの期間を延長させる期間延長手段を含み、

前記スロットマシンは、前記特定演出が実行されている期間であり、かつ該特定演出の期間として前記第 1 の期間または前記第 2 の期間の一方の期間が選択されているときに、前記期間延長手段により前記有利状態報知演出が実行されるまでの期間が延長されることで前記特定演出を実行する期間が前記第 1 の期間または前記第 2 の期間うち他方の期間と

なることを規制する期間規制手段をさらに備える  
ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記課題を解決するために、本発明の請求項１に記載のスロットマシンは、

遊技用価値（メダル）を用いて１ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示装置（リール２Ｌ、２Ｃ、２Ｒ）に表示結果が導出されることにより１ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能とされたスロットマシン（スロットマシン１）であって、

前記可変表示装置に表示結果を導出させるときに操作される導出操作手段（ストップスイッチ８Ｌ、８Ｃ、８Ｒ）と、

前記導出操作手段が操作されたときに、前記可変表示装置に表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段（メイン制御部４１によるリールの停止制御）と、

所定条件が成立しているときに、前記導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様（推奨停止順）以外の操作態様にて操作されたときに、遊技者に不利益（ペナルティ）を発生させることが可能な不利益発生手段（サブ制御部９１によるペナルティの付与）と、

遊技者にとって有利な有利状態（ＡＲＴ）に制御する有利状態制御手段（サブ制御部９１によるＡＲＴの制御）と、

前記有利状態（ＡＲＴ）に制御するか否かを決定する有利状態決定手段（ナビストック抽選）と、

前記有利状態（ＡＲＴ）に制御される可能性を示唆する特定演出（前兆演出）を実行する特定演出実行手段（サブ制御部９１による前兆演出の制御）と、

前記特定演出を実行する期間（前兆ゲーム数）を第１の期間（２１Ｇ・２３Ｇ・２５Ｇ・２７～２９Ｇ）と第２の期間（２０Ｇ・２２Ｇ・２４Ｇ・２６Ｇ）とを含む複数種類の期間から選択する期間選択手段（前兆ゲーム数抽選）と、

前記有利状態（ＡＲＴ）に制御する旨が決定されたときに、前記特定演出（前兆演出）を実行した後に前記有利状態に制御する旨を報知する有利状態報知演出（ＡＲＴ確定報知）を実行する有利状態報知演出実行手段（サブ制御部９１によるＡＲＴ確定報知）と、

を備え、

前記有利状態制御手段は、前記有利状態（ＡＲＴ）に制御する旨が決定され、前記特定演出（前兆演出）が実行されるときには、前記有利状態報知演出（ＡＲＴ確定報知）が実行された後に前記有利状態（ＡＲＴ）の制御を開始する特定演出後有利状態制御手段を含み、

前記期間選択手段は、前記有利状態に制御する旨が決定されているとき（ナビストックの当選時）に、前記有利状態に制御する旨が決定されていないとき（ナビストックの非当選時）よりも前記第１の期間と前記第２の期間のうち前記第１の期間が選択される比率が高くなるように前記特定演出を実行する期間（前兆ゲーム数）を選択し

前記不利益発生手段は、前記有利状態（ＡＲＴ）に制御する旨が決定された後、前記有利状態（ＡＲＴ）の制御が開始されるまでの期間において前記所定条件が成立し、前記導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様（推奨停止順）以外の操作態様にて操作されたときに、前記不利益（ペナルティ）として前記有利状態（ＡＲＴ）の開始を遅らせる特定不利益（前兆ゲーム数の加算）を発生させる特定不利益発生手段（サブ制御部９１による本前兆状態でのペナルティの付与）を含み、

前記有利状態報知演出実行手段は、前記特定不利益発生手段が前記有利状態（ＡＲＴ）の開始を遅らせるときに、前記有利状態報知演出（ＡＲＴ確定報知）が実行されるまでの

期間を延長させる期間延長手段（前兆ゲーム数の加算によりART確定報知の時期を遅らせる）を含み、

前記スロットマシンは、前記特定演出（前兆演出）が実行されている期間であり、かつ該特定演出（前兆演出）の期間として前記第1の期間または前記第2の期間の一方の期間が選択されているときに、前記期間延長手段により前記有利状態報知演出（ART確定報知）が実行されるまでの期間が延長される（前兆ゲーム数が加算される）ことで前記特定演出（前兆演出）を実行する期間が前記第1の期間または前記第2の期間のうち他方の期間となることを規制する期間規制手段（サブ制御部91による前兆演出の中止）をさらに備える

ことを特徴としている。

この特徴によれば、有利状態に制御する旨が示唆される特定演出を経て有利状態に制御される場合があり、この際、有利状態に制御する旨が決定されているときに、有利状態に制御する旨が決定されていないときよりも特定演出の期間として第1の期間と第2の期間のうち第1の期間が選択される比率が高く設定されることで、特定演出の期間が第1の期間である場合に、特定演出の期間が第2の期間である場合よりも有利状態に制御されることが期待できるようになっている。

また、特定演出が実行されている期間であり、かつ該特定演出の期間として第1の期間または前記第2の期間の一方の期間が選択されているときに、所定条件が成立し、導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様以外の操作態様にて操作されることで有利状態の制御が開始されるまでの期間が延長される特定不利益が発生し、有利状態報知演出が実行されるまでの期間が延長された場合でも、特定演出を実行する期間が第1の期間または第2の期間のうち他方の期間となることが規制されるので、特定不利益の発生により特定演出の期間が第1の期間であるか第2の期間であるかにより示唆される有利状態に制御される可能性と実際に有利状態に制御される可能性とが整合しなくなってしまうことを防止できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の請求項2に記載のスロットマシンは、

遊技用価値（メダル）を用いて1ゲームに対して所定数の賭数を設定することによりゲームが開始可能となるとともに、各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示装置（リール2L、2C、2R）に表示結果が導出されることにより1ゲームが終了し、該可変表示装置に導出された表示結果に応じて入賞が発生可能とされたスロットマシン（スロットマシン1）であって、

前記可変表示装置に表示結果を導出させるときに操作される導出操作手段（ストップスイッチ8L、8C、8R）と、

前記導出操作手段が操作されたときに、前記可変表示装置に表示結果を導出させる制御を行う導出制御手段（メイン制御部41によるリールの停止制御）と、

所定条件が成立しているときに、前記導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様（推奨停止順）以外の操作態様にて操作されたときに、遊技者に不利益（ペナルティ）を発生させることが可能な不利益発生手段（サブ制御部91によるペナルティの付与）と、

遊技者にとって有利な有利状態（ART）に制御する有利状態制御手段（サブ制御部91によるARTの制御）と、

前記有利状態（ART）に制御するか否かを決定する有利状態決定手段（ナビストック抽選）と、

前記有利状態決定手段により前記有利状態（ART）に制御する旨が決定されたときに、該有利状態の有利度（ナビストック数）を決定する有利度決定手段（ナビストック抽選

）と、

前記有利状態（ART）に制御される可能性を示唆する特定演出（前兆演出）を実行する特定演出実行手段（サブ制御部91による前兆演出の制御）と、

前記有利状態決定手段により前記有利状態（ART）に制御する旨が決定されたときに、前記特定演出（前兆演出）を実行する期間を第1の期間（21G・23G・25G・27～29G）と第2の期間（20G・22G・24G・26G）とを含む複数種類の期間から選択する期間選択手段（前兆ゲーム数抽選）と、

前記有利状態（ART）に制御する旨が決定されたときに、前記特定演出（前兆演出）を実行した後に前記有利状態に制御する旨を報知する有利状態報知演出（ART確定報知）を実行する有利状態報知演出実行手段（サブ制御部91によるART確定報知）と、

を備え、

前記有利状態制御手段は、前記有利状態（ART）に制御する旨が決定され、前記特定演出（前兆演出）が実行されるときには、前記有利状態報知演出（ART確定報知）が実行された後に前記有利状態（ART）の制御を開始する特定演出後有利状態制御手段を含み、

前記期間選択手段は、前記有利度決定手段により所定以上（3以上）の有利度（ナビストック数）が決定されているときに、所定未満（3未満）の有利度（ナビストック数）が決定されているときよりも前記第1の期間と前記第2の期間のうち前記第1の期間が選択される比率が高くなるように前記特定演出を実行する期間（前兆ゲーム数）を選択し、

前記不利益発生手段は、前記有利状態（ART）に制御する旨が決定された後、前記有利状態（ART）の制御が開始されるまでの期間において前記所定条件が成立し、前記導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様（推奨停止順）以外の操作態様にて操作されたときに、前記不利益（ペナルティ）として前記有利状態（ART）の開始を遅らせる特定不利益（前兆ゲーム数の加算）を発生させる特定不利益発生手段（サブ制御部91による本前兆状態でのペナルティの付与）を含み、

前記有利状態報知演出実行手段は、前記特定不利益発生手段が前記有利状態（ART）の開始を遅らせるときに、前記有利状態報知演出（ART確定報知）が実行されるまでの期間を延長させる期間延長手段（前兆ゲーム数の加算によりART確定報知の時期を遅らせる）を含み、

前記スロットマシンは、前記特定演出（前兆演出）が実行されている期間であり、かつ該特定演出（前兆演出）の期間として前記第1の期間または前記第2の期間の一方の期間が選択されているときに、前記期間延長手段により前記有利状態報知演出（ART確定報知）が実行されるまでの期間が延長される（前兆ゲーム数が加算される）ことで前記特定演出（前兆演出）を実行する期間が前記第1の期間または前記第2の期間のうち他方の期間となることを規制する期間規制手段（サブ制御部91による前兆演出の中止）をさらに備える

ことを特徴としている。

この特徴によれば、有利状態に制御する旨が示唆される特定演出を経て有利状態に制御される場合があり、この際、有利状態に制御する旨が決定され、該有利状態の有利度として所定以上の有利度が決定されているときに、所定未満の有利度が決定されているときよりも特定演出の期間として第1の期間と第2の期間のうち第1の期間が選択される比率が高く設定されることで、特定演出の期間が第1の期間である場合に、特定演出の期間が第2の期間である場合よりも有利状態の有利度が所定以上であることが期待できるようになっている。

また、特定演出が実行されている期間であり、かつ該特定演出の期間として第1の期間または前記第2の期間の一方の期間が選択されているときに、所定条件が成立し、導出操作手段が該所定条件に応じた操作態様以外の操作態様にて操作されることで有利状態の制御が開始されるまでの期間が延長される特定不利益が発生し、有利状態報知演出が実行されるまでの期間が延長された場合でも、特定演出を実行する期間が第1の期間または第2の期間のうち他方の期間となることが規制されるので、特定不利益の発生により特定演出

の期間が第 1 の期間であるか第 2 の期間であるかにより示唆される有利状態の有利度と実際の有利状態の有利度とが整合しなくなってしまうことを防止できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

尚、請求項 1、2 において導出操作手段の操作態様とは、導出操作手段の操作タイミングでも良いし、導出操作手段の操作順でも良いし、これらの組み合わせでも良い。

また、請求項 1、2 において所定条件に応じた操作態様とは、複数の条件に対して一律に決められた操作態様でも良いし、遊技状態、事前決定手段の決定結果、操作態様の報知の有無などの条件に応じて決められた操作態様でも良い。また、所定条件は、事前決定手段の決定結果、操作態様の報知の有無、有利状態以外の有利上などの条件が該当する。

また、請求項 1、2 において遊技者にとって有利な有利状態とは、遊技者にとって有利な表示結果が導出される確率、遊技者にとって有利な表示結果の導出が許容される確率が通常状態よりも高くなったり、遊技者にとって有利な表示結果を導出させるための操作態様が報知されること等により遊技者にとって有利となる状態など、遊技用価値が付与される期待値が通常よりも高まることで遊技者にとって有利となる遊技状態でも良いし、遊技者にとって有利な特典（有利状態へ移行させることが可能となる権利、遊技者にとって有利な表示結果を導出させるための操作態様が報知される権利、現在の遊技状態が遊技者にとって有利状態か否かが報知される権利等）が付与される確率が通常よりも高まる遊技状態、特典が付与された場合にその有利度が通常よりも高まる遊技状態など、遊技用価値が付与される期待値以外で遊技者にとって有利となる遊技状態でも良い。

また、請求項 1、2 において有利状態制御手段は、有利状態に制御する旨が決定された場合に、その後、少なくとも特定演出を経て有利状態に制御する構成であれば良く、有利状態に制御する旨が決定された後、必ず特定演出を経て有利状態に制御する構成でも良いし、有利状態に制御する旨が決定された後、特定演出を経て有利状態に制御する場合と、特定演出を経ずに有利状態に制御する場合と、の双方を備える構成でも良い。

また、請求項 1、2 において期間選択手段が選択する特定演出が実行される期間は、少なくとも第 1 の期間と第 2 の期間とを含む構成であれば良く、第 1 の期間、第 2 の期間以外の期間を含む 3 種類以上の期間からいずれかの期間を特定演出が実行される期間として選択する構成としても良い。

また、請求項 1、2 において期間規制手段は、前記特定演出が実行されている期間であり、かつ該特定演出の期間として前記第 1 の期間または前記第 2 の期間の一方の期間が選択されているときに、前記期間延長手段により前記有利状態報知演出が実行されるまでの期間が延長されることで前記特定演出を実行する期間が前記第 1 の期間または前記第 2 の期間のうち他方の期間となるときに、該実行中の特定演出を中止することで前記特定演出を実行する期間が前記第 1 の期間または前記第 2 の期間のうち他方の期間となることを規制する構成でも良いし、該実行中の特定演出の期間が前記第 1 の期間または前記第 2 の期間のうち一方の期間となるように特定演出の期間を変更することで前記特定演出を実行する期間が前記第 1 の期間または前記第 2 の期間のうち他方の期間となることを規制する構成でも良い。

また、請求項 2 における有利状態の有利度とは、入賞の発生が許容される確率、所定ゲーム数毎に有利状態が継続する確率、有利状態に制御されるゲーム数、所定ゲーム数にわたり有利状態が継続する権利数、遊技者にとって有利な情報が報知されるか否かの確率、遊技者にとって有利な情報が報知される権利数などが該当し、有利度が高いとは、これらの確率やゲーム数、権利数が遊技者にとって有利となるように優遇されることである。

また、請求項 2 において有利状態決定手段と、有利度決定手段と、は別個の抽選手段により構成されていても良いし、有利状態決定手段と、有利度決定手段と、が 1 の抽選手段

、すなわち有利状態に制御するか否かの決定と、有利状態の有利度と、を一度に決定する抽選手段により構成されていても良い。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の手段 1 に記載のスロットマシンは、請求項 1 または 2 に記載のスロットマシンであって、

前記期間規制手段は、前記特定演出（前兆演出）が実行されている期間であり、かつ該特定演出の期間として前記第 1 の期間または前記第 2 の期間の一方の期間が選択されているときに、少なくとも前記期間延長手段により前記有利状態報知演出（ART 確定報知）が実行されるまでの期間が延長される（前兆ゲーム数が加算される）ことで前記特定演出（前兆演出）を実行する期間が前記第 1 の期間または前記第 2 の期間のうち他方の期間となるとときには、該実行中の特定演出（前兆演出）を中止する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定演出が実行されている期間であり、かつ該特定演出の期間として第 1 の期間または前記第 2 の期間の一方の期間が選択されているときに、特定不利益の発生により有利状態報知演出が実行されるまでの期間が延長された場合でも、特定演出が中止されることで特定演出の期間が第 1 の期間であるか第 2 の期間であるかにより示唆される有利状態に制御される可能性または有利状態の有利度と実際に有利状態に制御される可能性または有利状態の有利度とが整合しなくなってしまうことを防止できる。また、特定演出の期間が第 1 の期間または第 2 の期間のうち他方の期間となるとときに実行中の特定演出を中止するのみで済むので特定演出を実行する期間が第 1 の期間または第 2 の期間のうち他方の期間となることを防止する制御が複雑とならない。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の手段 2 に記載のスロットマシンは、手段 1 に記載のスロットマシンであって、

前記期間規制手段は、前記特定演出（前兆演出）が実行されている期間であり、かつ該特定演出の期間として前記第 1 の期間または前記第 2 の期間の一方の期間が選択されているときに、前記期間延長手段により前記有利状態報知演出（ART 確定報知）が実行されるまでの期間が延長される（前兆ゲーム数が加算される）ときには、前記特定演出（前兆演出）を実行する期間が前記第 1 の期間または前記第 2 の期間のうち他方の期間とならないときにも、該実行中の特定演出（前兆演出）を中止する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定不利益の発生により有利状態報知演出が実行されるまでの期間が延長された場合には、必ず特定演出が中止されるので、特定不利益が発生したことが明確となり、所定条件が成立しているときに遊技者に対して該所定条件に応じた操作態様での導出操作手段の操作を促すことができる。